

【授業の到達目標および概要】

栄養疫学の学問概念、栄養疫学研究の方法、栄養疫学から得られる知見の理解と活用方法に関する知識と技術を習得することを目的とする。特に、食事アセスメント法を中心として、研究計画の立て方、データの取り扱い方、解析技術、栄養健康情報の読み方と使い方について重点的に講義を行う。この授業を受講すると、栄養疫学研究を正しく計画・実施・解釈できる能力を習得できる。人間を扱う分野を専攻する学生ならびに、その分野への就職を希望する学生には必須の科目である。

【授業計画】

- ① 栄養疫学の基礎と歴史
- ② 栄養疫学における測定法理論
- ③ 介入試験の理論と実際
- ④ 記述疫学の理論と実際
- ⑤ 観察研究の理論と実際
- ⑥ EBN からみた食事と生活習慣病
- ⑦⑧ まとめ

【授業外学習】

教科書を熟読したうえで講義に臨むこと。特に、自分の研究に活かすという視点で読むこと。また、食事アセスメントの実習も授業外学習に含める（授業中に指示する）。

【成績評価の方法・基準】

出席回数と授業終了後に課すレポートをあわせて評価を行う。3分の2以上の授業に出席し、かつ、授業内容の基礎を理解したことが客観的に理解できるレポートが提出されたことをもって合格とする。

【教科書】

わかりやすい EBN と栄養疫学。佐々木敏、同文書院、2005。2500 円+税

【参考書】

なし

【教材】

必要に応じて授業中に配布する。

【備考】

この授業を受講すると、自分がいままで描いていた研究計画や研究結果の解釈がいかに非科学的なものであったかを痛感するとともに、栄養と健康の関連を探る栄養疫学研究がいかに興味深かつ重要な科学であるかを知るであろう。